

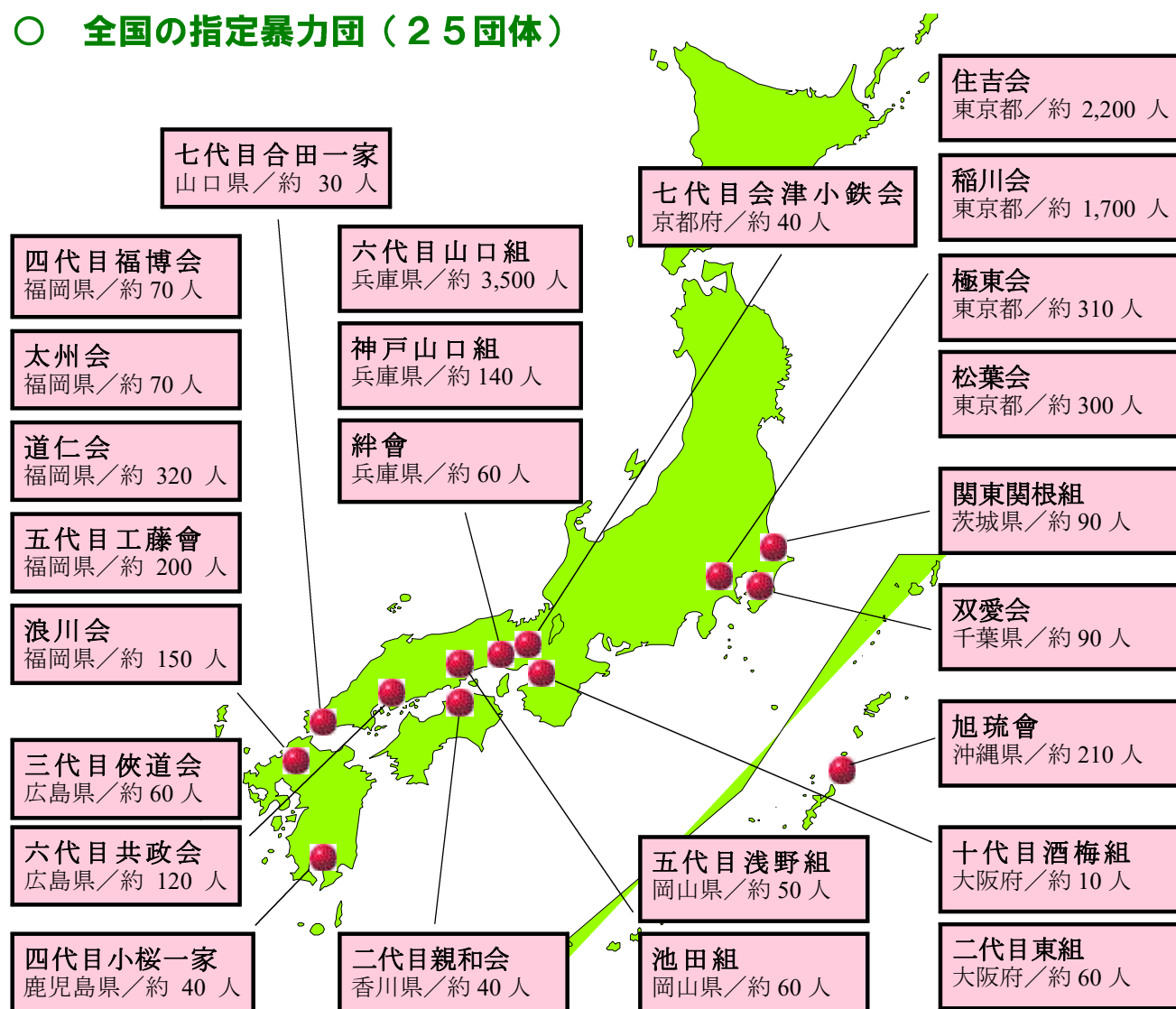
暴力団の勢力

1 全国の情勢

全国の暴力団構成員及び準構成員等（以下、「暴力団構成員等」という。）の数は、平成17年以降減少し、令和5年末現在で約20,400人と、統計が残る昭和33年以降、最少人数を更新しました。このうち、暴力団構成員の数は約10,400人で、前年に比べ約1,000人減少し、準構成員等の数は約10,000人で、前年に比べ約1,000人減少しています。

また、主要団体等（六代目山口組、神戸山口組、絆會、池田組、住吉会、稲川会）の暴力団構成員等の数は約14,500人（全暴力団構成員等の71.1%）、うち暴力団構成員の数は約7,700人（全暴力団構成員の74.0%）となっています。

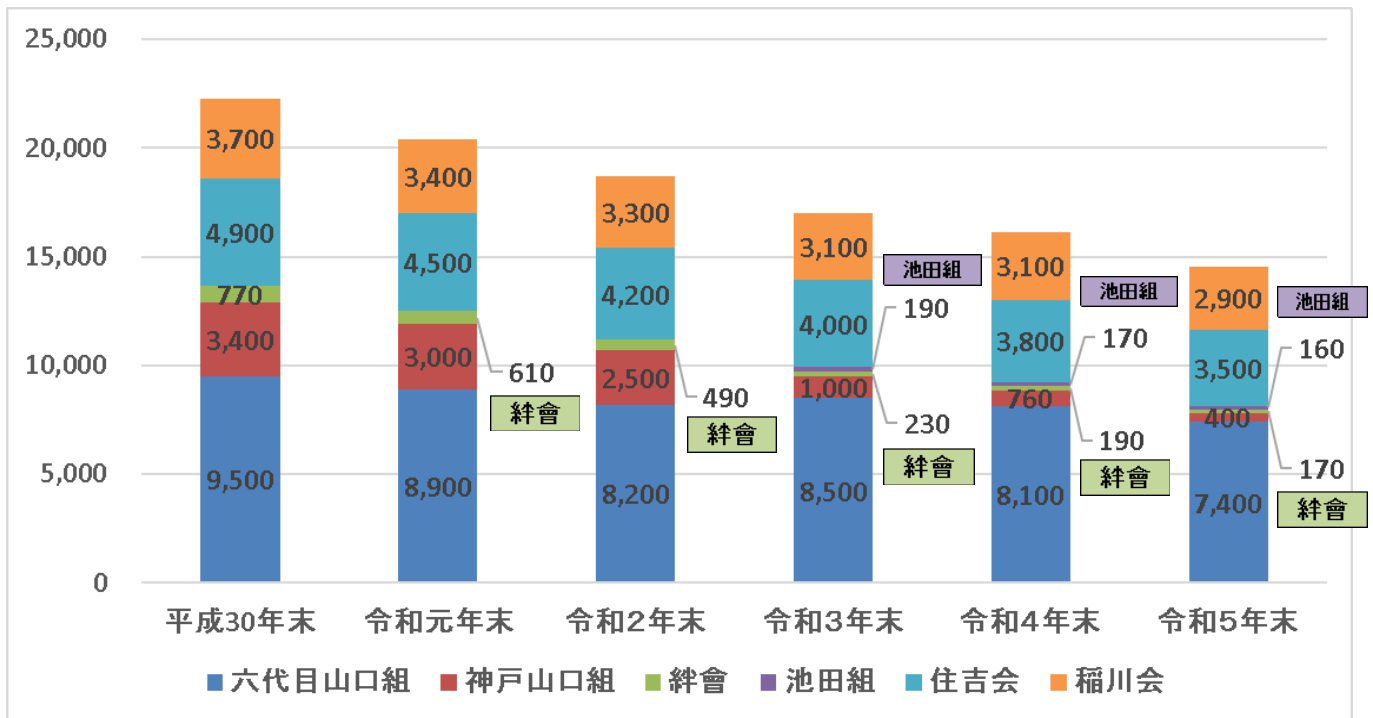
○ 全国の指定暴力団（25団体）



※ 各団体の「名称」、「暴力団構成員数」は、令和5年末現在のものを示している。

※ 令和5年末における全暴力団構成員数（約10,400人）に占める指定暴力団構成員数（約9,900人）の比率は95.2%である。

○ 主要団体等の暴力団構成員等の推移（平成30年末～令和5年末）



2 千葉県的情勢

千葉県暴力団構成員等の数は、令和5年末現在、約990人で、前年と比べ約70人減少しています。このうち、暴力団構成員の数は約520人で、前年と比べ約10人減少しています。

暴力団構成員等の数が最も多いのは住吉会、次いで稲川会、双愛会の順となり、3団体で全暴力団構成員等の約75パーセントを占めています。

これら暴力団は、それぞれ縄張りを主張して活動していますが、県内の主な暴力団の活動地域は右図のとおりです。

